



きゅうしょく

れきし

きゅうしょく

はじ



# 給食の歴史～給食の始まり～



めいじ

明治22年(1889年)、山形県の忠愛小学校で貧困児童

やまがたけん

ちゅうあいしょうがっこう

ひんこんじどう

たいしょう

むしょう

ちゅうしょく

ていきょう

きゅうしょく

きげん

い

を対象に無償で昼食を提供したことが給食の起源と言われ

とうじ

さけ

しおや

な

つけもの

ています。当時はおにぎり、鮭の塩焼き、菜の漬物という

こんだて

献立でした。

きゅうしょく

給食では、おにぎりと鮭の塩焼きに、野菜の和え物と豚汁

さけ しおや

やさい

あ

もの

とんじる

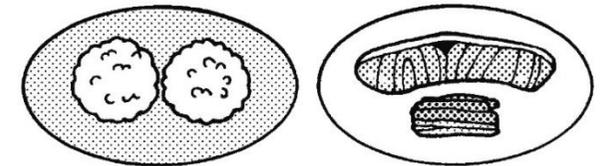
をつけました。給食の原点を感謝しながら

きゅうしょく

げんてん

かんしゃ

いただきますしょう。





さけ しおこうじゃ あ とんじる  
おにぎり、**鮭の塩麴焼き**、**ごま和え**、**豚汁**